

第 6 0 回公益社団法人愛知県診療放射線技師会

定時総会次第

開会の辞
会長挨拶
表彰
総会運営委員会報告
議長選出

議 事

第 1 号議案	令和 6 年度事業報告
第 2 号議案	令和 6 年度総務報告
第 3 号議案	令和 6 年度収支決算報告
第 4 号議案	令和 6 年度監査報告
第 5 号議案	令和 7 年度事業計画（案）
第 6 号議案	令和 7 年度収支予算（案）
第 7 号議案	その他

議長解任

選挙管理委員会報告
役員選挙

閉会の辞

令和 6 年度（2024 年度） 事業報告

【総括】

2024 年度は異常気象やインフルエンザの記録的な感染者数など社会環境の影響により日々の生活に大きなダメージを与えた年となった。また、働く人の賃金は上昇しているが物価の上昇に賃金の伸びが追いつかず、実質賃金は低迷している。医療においては 4 月の診療報酬改定によりベースアップ評価料が新設され医療職の給与アップに使用することを目的とされている。しかし厚労省としては基本給アップに使用する目的と認識しているが、手当として支給している施設も多く乖離がでている。日本診療放射線技師会としてもベースアップ評価料の現状調査を検討している。

今年度は日本診療放射線技師会と日本放射線技術学会との合同で日本放射線医療技術学術大会が沖縄県で開催された。各地方では以前より合同開催されていたが全国での開催は初めてとなり開催期間は 4 日間で演題数は 789 演題の発表があった。参加人数も 2,699 名と多くの方が参加された。両会での合同開催は数年に一度の開催を予定しており次の開催は決まっていない。

愛知県診療放射線技師会の今年度の事業としては研修会やセミナー、県民公開講座、寺子屋、会員親睦会、職場責任者会議、学術大会と計画案の全てを開催することができた。会員親睦行事ではボーリング大会を 5 年ぶりに開催し 84 名の会員参加がありましたが参加地区の偏りがあり各地区から多くの技師に参加して頂けるような企画や方法を検討しなければならないと感じた。

告示研修も予定通り 12 回開催することが出来たが、9 月に名鉄看護専門学校で開催予定であった 2 日間は台風の影響により中止とした。振替として 12 月に開催することができ会場を提供して頂いた名鉄看護専門学校には感謝を申し上げる。他県では告示研修を開催しても定員に満たない場合も発生しているが、愛知県では締切前には定員に達しておりまだまだ受講を希望する技師が多くいる。最近の傾向では非会員の受講も増えており 1 回の定員に対して半数近くが非会員である。

愛知県診療放射線技師会学術大会を 3 月に開催し 19 演題の発表があった。以前は演題募集をしてもなかなか集まらず各施設に協力要請をしていたが、最近では演題募集の期日までに多くの演題応募があり、今年においては演題数が多かったため午前中からの開催となった。愛知県の学術大会では若手の技師が初めて発表する場として使っていており、会員の皆さんにもそのような考え方が浸透してきたのではないかと考えている。

2025 年 4 月に公益法人法改定により外部監事の設置が必須となり定款や規定を改訂する必要があったため 3 月に臨時総会を開催させて頂いた。今後も公益法人としての役割を考えしっかりと運営をしていく所存である。

事業の詳細については、次ページ以降に記載する。

1. 総務報告

1) 会員の動向（令和7年3月31日現在）

正会員	2,305名
新入会員	155名
再入会員	4名
転入会員	12名
転出会員	17名
退会	84名
賛助会員	27社

2) 表彰（敬称略）

- (1) (公社)日本診療放射線技師会会長表彰
(第40回日本診療放射線技師学術大会開会式において表彰)

① 永年勤続50年

藤川 清治

以上 1名

② 永年勤続30年

西川 彰人	安井 真由美	池田 高広	上手 美鈴	三浦 貴
杉浦 公彦	原田 博文	石原 茂	成瀬 隆行	甲村 幸幹
辻井 重吉	高村 マキ	佐藤 保	横山 誠	水口 敬
服部 信哉	大瀬 英是	峯田 崇	加藤 貴彦	神野 希佳
以上 20名（会員番号順）				

- (2) (公社)愛知県診療放射線技師会会長表彰
(第59回(公社)愛知県診療放射線技師定時総会において表彰)

① 継続会員30年表彰

佐渡 真	江上 和宏	小西 重文	末松 誠司	野々垣 秀彦
西川 彰人	國友 優子	近藤 賢一	田中 香代子	安部 忠臣
中野 勝美	安井 真由美	服部 恭代	小西 哲也	池田 高広
近藤 智充	吉田 美千代	高橋 利好	上手 美鈴	須網 芳弘
三浦 貴	折式田 由美	益田 千恵子	前田 潤	杉浦 公彦
森川 喜隆	原田 博文	石原 茂	吉川 誠	成瀬 隆行
安藤 正紀	山下 孝	柴田 竜也	甲村 幸幹	辻井 重吉
玉井 伸一	片桐 基博	真野 晃浩	高村 マキ	
以上 39名（会員番号順）				

3) 会議の種類と開催回数

(1) 会議

総会	2回
常務理事会	4回
理事会	5回

(2) 部会等（担当理事会議を含む）

組織調査部	1回
広報部	2回
学術部	2回
女性委員会	3回
総会運営委員会	2回
選挙管理委員会	1回

4) 常務理事会及び理事会の開催日と議題

第1回常務理事会

日時： 令和6年6月12日（水）午後6時30分から
場所： WEB開催
議題： 1. 公益社団法人日本診療放射線技師会について

2. 公益社団法人愛知県診療放射線技師会について
3. その他

第2回常務理事会

- 日時： 令和6年9月30日（金）午後6時30分から
場所： WEB開催
議題： 1. 公益社団法人日本診療放射線技師会について
2. 公益社団法人愛知県診療放射線技師会について
3. その他

第3回常務理事会

- 日時： 令和6年12月16日（月）午後6時30分から
場所： WEB開催
議題： 1. 公益社団法人日本診療放射線技師会について
2. 公益社団法人愛知県診療放射線技師会について
3. その他

第4回常務理事会

- 日時： 令和7年2月12日（水）午後6時30分から
場所： WEB開催
議題： 1. 公益社団法人日本診療放射線技師会について
2. 公益社団法人愛知県診療放射線技師会について
3. その他

第1回理事会

- 日時： 平成6年4月10日（水）午後6時から
場所： （公社）愛知県診療放射線技師会 研修室およびWEB開催
議題： 1. 公益社団法人日本診療放射線技師会について
2. 公益社団法人愛知県診療放射線技師会について
3. その他

第2回理事会

- 日時： 令和6年6月26日（水）午後6時から
場所： （公社）愛知県診療放射線技師会 研修室およびWEB開催
議題： 1. 公益社団法人日本診療放射線技師会について
2. 公益社団法人愛知県診療放射線技師会について
3. その他

第3回理事会

- 日時： 令和6年10月16日（水）午後6時から
場所： （公社）愛知県診療放射線技師会 研修室およびWEB開催
議題： 1. 公益社団法人日本診療放射線技師会について
2. 公益社団法人愛知県診療放射線技師会について
3. その他

第4回理事会

- 日時： 令和7年1月22日（水）午後6時から
場所： （公社）愛知県診療放射線技師会 研修室およびWEB開催
議題： 1. 公益社団法人日本診療放射線技師会について
2. 公益社団法人愛知県診療放射線技師会について
3. その他

第5回理事会

- 日時： 令和7年3月3日（月）午後6時から
場所： （公社）愛知県診療放射線技師会 研修室およびWEB開催
議題： 1. 公益社団法人日本診療放射線技師会について
2. 公益社団法人愛知県診療放射線技師会について
3. その他

2. 総会関連事業

第59回（公社）愛知県診療放射線技師会定時総会

日時 令和6年5月26日（日）13:00～14:00
会場 名古屋市立大学病院
正会員数 2,235名
出席会員数 39名 議決権行使兼委任状 1,226名 合計 1,265名
議案
令和5年度 事業報告
令和5年度 総務報告
令和5年度 収支決算報告
令和5年度 監査報告
令和6年度 事業計画（案）
令和6年度 収支予算（案）
その他

令和6年度（公社）愛知県診療放射線技師会臨時総会

日時 令和7年3月16日（日）10:00～10:30
会場 名古屋市立大学病院
正会員数 2,368名
出席会員数 41名 議決権行使兼委任状 1,901名 合計 1,942名
議案
定款改正（案）
役員選出規定改正（案）
役員の報酬等に関する規程改正（案）
その他

3. 地域保健共催事業への参画

1) 地区医療放射線展の開催

地域住民の保健医療及び福祉活動の一環として行政組織と協力し、放射線についての正しい理解と知識の普及啓発や医療における診療放射線技師の役割等について、広く県民に理解いただくために、地区医療放射線展を開催した。

内容

- (1) 医療被ばく相談、医療放射線に関するパネル展示
- (2) 骨密度測定体験
- (3) 乳腺ファントム「しこり」触診体験
- (4) 自己診断 DVD 上映
- (5) パンフレット〈医療用放射線 Q&A〉の配布 など

①西三地区医療放射線展開催（刈谷市福祉・健康フェスティバル）

日時 令和6年10月20日（日）10:00～15:00
会場 刈谷市総合文化センター・みなくる広場
対象 県民一般
来場者 大人 207名 子供 107名 被ばく相談 10名
従事者 12名

4. 会員の資質向上に関する事業

1) 学術大会・研修会の開催

①第1回研修会

日時 令和6年5月11日（土）14:00～16:00
会場 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 第3病棟研修ホール
内容 明日から役立つ！乳腺画像診断
特別講演1
「診療放射線技師に知って欲しいマンモグラフィー読影基礎」

豊田厚生病院 乳腺外科 丹羽 多恵 先生
 会員発表
 「よりやさしいマンモグラフィーを
 “接遇とポジショニングの取り組み”」
 愛知医科大学病院 多和田 有花 会員
 「3T-MRI を用いた乳腺撮像」
 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 中田 京一郎 会員
 特別講演 2
 「一目置かれる乳腺 MRI」
 名古屋市立大学 放射線医学分野 浦野 みすぎ 先生
 参加者 158名 (内 非会員47名)

②第2回研修会

日時 令和6年11月17日(日) 14:00～17:30
 会場 中部労災病院 2F 講堂
 内容 若手技師と教育を担う先輩技師のためのER業務の実際
 会員発表
 シンポジウム
 「モダリティ経験者から若手技師に向けて」
 一般撮影 名鉄病院 千葉 航平 会員
 カテーテル治療 総合大雄会病院 則竹 隆広 会員
 CT 江南厚生病院 清水 崇之 会員
 MRI 藤田医科大学病院 高木 雅悠 会員
 「ハイブリッドERの使用経験」
 外因性疾患編 愛知医科大学病院 桐生 和馬 会員
 内因性疾患編 名古屋掖済会病院 小栗 健太 会員
 特別講演
 「もう当直なんて怖くない！
 ～Dr なぜ急ぐ！？ Ns なぜ怒ってる！？～」
 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 大保 勇 会員
 参加者 73名 (内 非会員9名)

③第3回研修会

日時 令和7年1月25日(土) 14:00～17:00
 会場 成田記念病院 3F 大会議室
 内容 脳神経変性疾患と脳卒中における撮影技術
 会員発表
 「各モダリティにおける質の高い画像を得るための工夫」
 CT 豊橋市民病院 磯部 晃 会員
 MRI 岡崎市民病院 久米 勇人 会員
 NM 豊川市民病院 小林 徹丸 会員
 特別講演
 「画像情報による診療支援
 ～脳卒中リハビリテーションを中心に～」
 豊橋市民病院リハビリテーション技術室 理学療法士 内藤 善規 先生
 参加者 65名 (内 非会員4名)

④第36回(公社)愛知県診療放射線技師会学術大会

日時 令和7年3月16日(日) 11:00～17:40
 会場 名古屋市立大学病院 中央診療棟3階大ホール
 内容 教育講演
 「問題解決に使える コンサル流ノンテクニカルスキル」
 IQVIAソリューションズジャパン合同会社 糟谷 明大 先生
 会員発表
 一般演題 19題
 特別講演
 「放射線画像研究 ～少しでも人の役に立つために～」
 金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授 市川 勝弘 先生
 参加者 152名 (内 非会員7名)

- ⑤第28回 寺子屋 研修会 「乳腺ハンズオンセミナー」
 日時 令和7年1月11日(土) 13:45～18:00
 会場 愛知県診療放射線技師会 研修室
 指導者 安井 真由美 会員 吉田 なお子 会員
 磯谷 直子 会員 田淵 友貴 会員
 参加者 12名 (内 非会員3名)

2) 共催事業

- ①第27回さつきセミナー
 日時 令和6年5月26日(日) 14:10～16:35
 内容 企業講演「バイエル薬品株式会社製品紹介」 バイエル薬品株式会社
 講演1 「2024年診療報酬改定 -画像診断関連の改定ポイント-」
 バイエル薬品株式会社 ラジオロジー事業部
 アプリケーションスペシャリストマネージャー 水内 宣夫 先生
 講演2 「Photon-counting detector CT の臨床的有用性」
 名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学分野
 助教 木曾原 昌也 先生
 参加者 72名 (内 非会員5名)

- ②第24回サマーセミナー
 日時 令和6年8月24日(土) 14:00～16:00
 会場 電気文化会館 5F ベントホール
 内容 情報提供 「製品紹介」 ゲルベ・ジャパン株式会社
 特別講演1 「画像等手術支援 ～鍵を握る診療放射線技師のタスク～」
 福井大学医学附属病院 放射線部 診療放射線技師長 立石 敏樹 先生
 特別講演2 「安全とはどういうことか」
 群馬大学大学院医学系研究科 放射線診断核医学 教授 対馬 義人 先生
 参加者 51名

- ③第34回診療放射線技師フォーラム
 日時 令和6年11月14日(木) 19:00～20:15
 会場 ウィンクあいち 9階 901
 内容 情報提供 「造影剤領域の情報提供」 GEヘルスケアファーマ株式会社
 特別講演 「肺動静脈奇形に対する画像診断とIVRのupdate」
 愛知医科大学医学部 放射線医学講座 教授(特任) 下平 政史 先生
 参加者 55名(内 非会員 2名)

- ④第25回新春セミナー
 日時 令和7年1月24日(金) 18:50～20:00
 会場 ウィンクあいち 12F 中会議室
 内容 情報提供 ブラッコ・ジャパン株式会社
 特別講演 「本邦におけるリンパ系IVRの歴史と現状」
 藤田医科大学 放射線医学教室 主任教授 井上 政則 先生
 参加者 57名 (内 非会員4名)

⑤Aichi Nuclear-medicine Technology Seminar ー核医学検査技術の基礎講座ー

- 1) 第54回 ANTs
 日時 令和6年7月2日(火) 19:00～20:00
 会場 WEB 開催
 内容 「核医学医療被ばく線量管理の電子化 ～標準化REM-NMとは～」
 講師 PDRファーマ株式会社 ソフト開発室 夜久 英樹 氏
 参加者 27名 (内 非会員8名)
- 2) 第55回 ANTs
 日時 令和6年10月8日(火) 18:00～19:00
 会場 WEB 開催
 内容 「放射性ヨウ素(I-131)を用いた核医学治療について」
 講師 PDRファーマ株式会社製品戦略部オンコロジーグループ 東 俊博 氏
 参加者 38名 (内 非会員5名)

- 3) 第56回 ANTs
 日時 令和6年12月10日(火) 18:00～19:00
 会場 WEB開催
 内容 「核医学検査の常識を再考する①
 100カウントの冪/散乱補正は悪か?/NMSEへの行き過ぎた信頼」
 講師 日本メジフィジックス株式会社 営業本部営業統括部 山木 範泰 氏
 参加者 38名 (内 非会員12名)
- 4) 第57回 ANTs
 日時 令和7年3月4日(火) 18:00～19:00
 会場 WEB開催
 内容 「核医学検査の常識を再考する②
 減弱補正の μ マップ/Chang法の前提条件/空間分解能」
 講師 日本メジフィジックス株式会社 営業本部営業統括部 山木 範泰 氏
 参加者 24名 (内 非会員7名)

3) 公益社団法人日本診療放射線技師会主催の研修会への共催

①フレッシュャーズセミナー

- 日時 令和6年6月9日(日) 9:30～17:00
 会場 JA あいちビル 14階 会議室A・B
 内容 プログラム
 9:30～ 開講式
 9:40～10:10 「日本診療放射線技師会の役割について」
 講師 (公社)愛知県診療放射線技師会 監事 中村 勝
 10:10～10:40 「愛知県診療放射線技師会の役割について」
 講師 (公社)愛知県診療放射線技師会 会長 水口 仁
 10:50～11:50 「感染対策」
 講師 愛知医科大学病院 感染管理室
 感染症看護専門看護師 高橋 知子
 12:00～12:50 「MRIの歴史と最新AI技術について」
 講師 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
 中部支社 営業推進部 篠原 郁人
 13:00～14:00 「医療安全」
 講師 藤田医科大学ばんだね病院
 放射線部 杉本 政司
 14:00～15:00 「マナー・エチケット・医療コミュニケーション」
 講師 (公社)愛知県診療放射線技師会 副会長 川口 範洋
 15:00～16:00 「胸部単純撮影講座」
 講師 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部
 放射線技術科学科 准教授 東出 了
 16:00～16:30 「被ばく低減」
 講師 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部
 放射線技術科学科 准教授 東出 了
 16:30～17:00 入会案内
 講師 (公社)愛知県診療放射線技師会 副会長 山本 和也
 17:00～ 閉講式
 参加者 76名 (内 非会員57名)

②告示研修(令和3年厚生労働省告示第273号研修)

- 日時 令和6年6月22日(土) 9:00～18:00
 会場 名古屋市立大学病院
 対象 全員
 内容 プログラム
 8:30～ 8:50 受付
 8:50～ 9:00 開講式・オリエンテーション
 9:00～10:15 静脈関係実技(DVD)

10:15～10:25	休憩
10:25～12:30	動脈実技、下部実技、上部実技（DVD）
12:30～13:30	昼休憩
13:30～18:00	静脈路を確保する行為の実技 各種検査手技の実技研修（CT・MRI・超音波・核医学） 動脈路造影剤注入に関する実技（注入器接続及び操作） 下部消化管に関する実技（CT コロノグラフィ検査及び下部消化管検査） 上部消化管鼻腔カテーテルに関する実技（造影剤注入及び抜去）
18:00～18:10	閉講式

参加者 45名

③告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時	令和6年6月23日（日）	9:00～18:00
会場	名古屋市立大学病院	
対象	全員	
内容	プログラム（前回と同様）	
参加者	45名	

④告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時	令和6年8月31日（土）	9:00～18:00
会場	名鉄看護専門学校	
対象	全員	
内容	プログラム（前回と同様）	
台風のため中止		

⑤告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時	令和6年9月1日（日）	9:00～18:00
会場	名鉄看護専門学校	
対象	全員	
内容	プログラム（前回と同様）	
台風のため中止		

⑥告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時	令和6年9月28日（土）	9:00～18:00
会場	東三河看護専門学校	
対象	全員	
内容	プログラム（前回と同様）	
参加者	46名	

⑦告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時	令和6年9月29日（日）	9:00～18:00
会場	東三河看護専門学校	
対象	全員	
内容	プログラム（前回と同様）	
参加者	46名	

⑧告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時	令和6年11月30日（土）	9:00～18:00
会場	名鉄看護専門学校	
対象	全員	
内容	プログラム（前回と同様）	
参加者	46名	

⑨告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時	令和6年12月1日（日）	9:00～18:00
----	--------------	------------

会場 名鉄看護専門学校
対象 全員
内容 プログラム（前回と同様）
参加者 47名

⑩告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時 令和6年12月14日（土） 9:00～18:00
会場 JA愛知厚生連 安城更生病院
対象 全員
内容 プログラム（前回と同様）
参加者 46名

⑪告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時 令和6年12月15日（日） 9:00～18:00
会場 JA愛知厚生連 安城更生病院
対象 全員
内容 プログラム（前回と同様）
参加者 46名

⑫告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時 令和7年2月1日（土） 9:00～18:00
会場 名鉄看護専門学校
対象 全員
内容 プログラム（前回と同様）
参加者 46名

⑬告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時 令和7年2月2日（日） 9:00～18:00
会場 名鉄看護専門学校
対象 全員
内容 プログラム（前回と同様）
参加者 45名

⑭告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時 令和7年2月22日（土） 9:00～18:00
会場 JA愛知厚生連 豊田厚生病院
対象 全員
内容 プログラム（前回と同様）
参加者 45名

⑮告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）

日時 令和7年2月23日（日） 9:00～18:00
会場 JA愛知厚生連 豊田厚生病院
対象 全員
内容 プログラム（前回と同様）
参加者 46名

4）地域の学術大会や研究会などへの参加

①第1回日本放射線医療技術学術大会

（第40回日本診療放射線技師学術大会・第52回日本放射線技術学会秋季学術大会）

日時 令和6年10月31日（木）～11月3日（日）

会場 沖縄コンベンションセンター Web

主催 （公社）日本診療放射線技師会

（公社）日本放射線技術学会

大会テーマ： ゆいまーる 診療放射線技術の共創

All Japan Radiological Technology

内容 会員研究発表・特別講演・教育講演・教育セミナー・市民公開講座・他

参加者 2,699名

②第16回中部放射線医療技術学術大会

(第32回中日本地域放射線技師学術大会・第58回日本放射線技術学会中部支部学術大会)

日時 令和6年12月7日(土)～8日(日)

会場 じゅうろくプラザ

主催 (公社)日本放射線技術学会中部支部

(公社)日本診療放射線技師会／中日本地域診療放射線技師会

大会テーマ： 技術の革新と叡智の伝承

ー放射線医療の新たな使命ー

内容 シンポジウム・企画・講演・セミナー・一般演題・他

参加者 854名 (愛知県 298名)

③第65回東海四県放射線技師学術大会並びにレントゲン祭

日時 令和7年2月16日(日) 10:00～16:00

会場 じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)

当番 (公社)岐阜県診療放射線技師会

内容 大会テーマ「多様性から広がる診療放射線技師の未来」

会員発表

「日常業務に役立つ!? 知識について」

愛知県 放射線被ばく相談についての取り組み

総合大雄会病院 小林 貴博 会員

三重県 ワークステーションの最近の話題

三重大学医学部附属病院 木村 直人 会員

静岡県 緊急撮影と読影(STAT画像)の現状

静岡市立静岡病院 山脇 和摩 会員

岐阜県 能登半島地震 災害派遣を経験して

大垣市民病院 市川 宏紀 会員

ミニレクチャー

「診療放射線技師の皆さんに今ちょっと話してみたいこと」

医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 輸血部 森本 剛史 先生

教育講演

「核医学の今を知るー検査と治療の最新トピックスー」

岐阜医療科学大学 保健科学部 放射線技術学科 准教授 北 章延 先生

ランチョンセミナー

これからの線量管理業務

「クラウドで進める線量管理業務の標準化」

PSP株式会社 新規事業開発本部 柳沢 正道 氏

「クラウド型線量管理システムの使用経験」

朝日大学病院 放射線部 三木 一孝 会員

特別講演

「中枢神経の画像診断」

岐阜大学大学院医学系研究科寄附講座 放射線量子医学研究講座

特任講師 安藤 知広 先生

シンポジウム

「疾患の発見から治療まで」

静岡県 CT検査

順天堂大学医学部附属病院 杉山 功也 会員

愛知県 MR検査

名古屋整形外科・人工関節クリニック 木村 航 会員

岐阜県 US検査

大垣市民病院 高橋 健一 会員

三重県 消化器撮影

四日市羽津医療センター 杉田 和久 会員

参加者 174名 (愛知県 43名)

5. 組織の充実・調査活動

1) 地区活動の推進

組織運営規定第22条に基づき各地区に助成金を交付

2) 令和6年度職場責任者会議

①令和6年度職場責任者会議（マネージャー・サブマネージャーセミナー）

日時 令和7年3月2日（日） 14:00～15:50
会場 JA あいちビル
内容 アンケート調査結果報告および検討 安井 真由美 理事
特別講演
「医療機関に求められる人材育成の手法」
株式会社ソラスト 医療事業本部 品質統括部 経営支援グループ
ディレクター 診療情報管理士 三澤 理恵 先生
参加者 46名（内 非会員1名）

3) Cherish の会（県技師会女性委員会）

①令和6年度第1回 Cherish の会 Zoom セミナー

日時 令和6年6月29日（土） 14:30～16:00
場所 WEB 開催
内容 講演1
「リスク層別化検診時代を踏まえた非造影乳がん検診の位置付け」
東海大学工学部 医工学科 教授
聖マリアンナ医科大学放射線科 臨床教授
株式会社ドゥイブス・サーチ代表医師 高原 太郎 先生
参加者 66名（内 非会員1名）

②令和6年度 Cherish の会セミナー

日時 令和6年11月17日（日） 14:00～16:30
場所 刈谷市総合文化センター 401・402研修室
(JR 刈谷駅南口 ウイングデッキ直結徒歩3分)
内容 「いろいろなモダリティで多角的に乳腺疾患を読影しよう」
読影のための基礎知識講座
MMG 藤田医科大学病院 千田 彩加 会員
乳腺エコー 安城更生病院 平沢 文香 会員
MRI 刈谷豊田総合病院 石黒 健太 会員
症例検討会 腫瘍性病変について3症例
参加者 55名（内 非会員7名）

6. (公社)愛知県診療放射線技師会誌・「愛放技通信」等の発刊事業

- 1) 令和6年4月25日 (公社)愛知県診療放射線技師会誌36巻第1号(173)発刊
- 2) 令和6年12月23日 同 上 36巻第2号(174)発刊

7. 会員親睦事業

1) ボウリング大会

日時 令和6年10月13日（日） 9:30～13:00
会場 イーグルボウル
参加者 84名（応援者を含む）
結果 【地区別】
優勝 : 尾東・西三⑤チーム
準優勝 : 尾西・西三⑥チーム
第3位 : 東三・西三④チーム

【個人】

優勝 : 宮口 達也 会員 (西三)
岩瀬 悠希 会員 (西三)
準優勝 : 荒武 瑞貴 会員 (西三)
第3位 : 荒武 利男 会員 (西三)

8. 第17回県民公開講座の開催

日時 : 令和6年11月10日 (日) 13:00~16:00

場所 : 名古屋市立大学病院 中央診療棟 3階 大ホール

内容 : 家族・地域・医療で支える認知症

ー認知症を理解し上手に付き合うためのマル得セミナーー

専門医・認定看護師・診療放射線技師が最先端の予防・診断・治療についてお話しします。

講演Ⅰ 診療放射線技師から診る認知症 ～MRIを中心に～

名古屋市立大学病院 診療技術部放射線技術科 栗林 武志 会員

講演Ⅱ あなたがいてよかった

～認知症の人とご家族が安心できる地域を目指して～

トヨタ記念病院 認知症疾患医療センター 認知症認定看護師
小幡 志津 先生

講演Ⅲ 認知症なんかこわくない

医療法人生生会まつかけシニアホスピタル・認知症疾患医療センター 院長
認知症疾患医療センター長 水野 裕 先生

参加者 166名 (うち骨密度測定体験91名)

.....

2024年度 決算報告

1.貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

(資産の部)

科 目		当年度	前年度	増減
大科目	中科目			
流動資産	現金預金	8,411,383	13,470,787	△ 5,059,404
	前払費用	200,000	200,000	0
	未収入金	0	30,000	△ 30,000
	立替金	119,373	62,370	57,003
	CCRT立替金	0	0	0
	事務所仮払金	80,000	80,000	0
	流動資産合計	8,810,756	13,843,157	△ 5,032,401
固定資産 特定資産	創立75周年記念事業積立金	8,000,000	8,000,000	0
	創立80周年記念事業積立金	5,000,000	0	5,000,000
	特定資産合計	13,000,000	8,000,000	5,000,000
その他固定資産	建物	309,376	320,443	△ 11,067
	建物付属設備	312,181	362,390	△ 50,209
	器具備品	398,756	11	398,745
	電話加入権	74,984	74,984	0
	保証金	1,200,000	1,200,000	0
	その他固定資産合計	2,295,297	1,957,828	337,469
	固定資産合計	15,295,297	9,957,828	5,337,469
	資産合計	24,106,053	23,800,985	305,068

(負債の部)

科 目		当年度	前年度	増減
大科目	中科目			
流動負債	未払金	0	0	0
	前受金	0	0	
	仮受金	0	0	0
	預り金	0	31,575	△ 31,575
	学会準備金	0	0	0
	流動負債合計	0	31,575	△ 31,575
固定負債				
	記念事業引当金	0	0	0
	公益法人化事業引当金	0	0	0
	会員活動強化引当金	0	0	0
	固定負債合計	0	0	0
	負債合計	0	31,575	△ 31,575

(正味財産の部)

科 目		当年度	前年度	増減
大科目	中科目			
一般正味財産	一般正味財産	24,106,011	23,769,410	336,601
	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	正味財産合計	24,106,011	23,769,410	336,601
	負債及び正味財産合計	24,106,011	23,800,985	305,026

2.正味財産増減計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

(一般正味財産増減の部)

科 目		当年度	前年度	増減
大科目	中科目			
経常収益				
受取入会金				
	入会金収入	385,000	345,000	40,000
受取会費				
	正会員会費収入	13,735,000	13,482,360	252,640
	賛助会員会費収入	840,000	870,000	△ 30,000
事業収益				
	広告料収入	780,000	750,000	30,000
	講習会収入	57,000	965,500	△ 908,500
	記念事業収入	0	0	0
雑収益				
	雑収入	5,704	91,947	△ 86,243
	委託契約収入	396,000	390,600	5,400
	経常収益計	16,198,704	16,895,407	△ 696,703
経常費用				
事業費				
	会議費	332,295	377,955	△ 45,660
	旅費交通費	923,682	1,085,168	△ 161,486
	通信運搬費	1,491,535	1,187,762	303,773
	消耗什器備品費	331,256	369,620	△ 38,364
	消耗品費	6,094	0	6,094
	印刷製本費	3,159,074	2,867,875	291,199
	賃借料	939,550	1,926,750	△ 987,200
	水道光熱費	124,349	114,119	10,230
	保険料	0	0	0
	諸謝金	1,107,186	1,340,535	△ 233,349
	負担金支出	471,000	612,744	△ 141,744
	助成金支出	798,910	856,199	△ 57,289
	給料手当	2,229,799	2,090,627	139,172
	福利厚生費	564,445	135,850	428,595
	記念事業費	0	0	0
	雑費	220	0	220

科 目		当年度	前年度	増減
大科目	中科目			
	減価償却費	49,918	36,168	13,750
管理費	事業費計	12,529,313	13,001,372	△ 472,059
	給料手当	247,755	232,291	15,464
	福利厚生費	0	0	0
	会議費	98,306	72,000	26,306
	旅費交通費	102,702	68,016	34,686
	通信運搬費	198,310	169,524	28,786
	消耗什器備品費	86,880	68,396	18,484
	消耗品費	113,521	19,004	94,517
	水道光熱費	199,121	191,048	8,073
	賃借料	1,536,000	1,536,000	0
	保険料	78,809	88,492	△ 9,683
	諸謝金	535,020	524,072	10,948
	減価償却費	25,108	25,108	0
	雑費	111,211	129,462	△ 18,251
	管理費計	3,332,743	3,123,413	209,330
	經常費用計	15,862,056	16,124,785	△ 262,729
	当期經常増減額	336,648	770,622	△ 433,974

科 目		当年度	前年度	増減
大科目	中科目			
經常外収益 記念事業収益				
	記念事業引当金取崩			0
	公益法人化引当金取崩	0	0	0
	会員活動強化引当金取崩	0	0	0
	記念事業収入	0	0	0
	經常外収益計	0	0	0
經常外費用 記念事業費				
	記念事業費		0	0
引当金繰入				
	記念事業引当金繰入	0	0	0
	公益法人化事業 引当金繰入	0	0	0
	会員活動強化引当金繰入	0	0	0
	引当金繰入計	0	0	0
固定資産除却損	器具備品除却損	5	0	5
	經常外費用計	5	0	5
	当期經常外増減額	△ 5	0	△ 5
	当期一般正味財産増減額	336,643	770,622	△ 433,979
	一般正味財産期首残高	23,769,410	22,998,788	770,622
	一般正味財産期末残高	24,106,053	23,769,410	336,643
	正味財産期末残高	24,106,053	23,769,410	336,643

3.財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定額法

(2) 消費税等の会計処理

税込み方式により処理

3 会計方針の変更

該当なし

4 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
創立75周年記念事業積立金	8,000,000			8,000,000
創立80周年記念事業積立金	0	5,000,000		5,000,000
小 計	8,000,000	5,000,000	0	13,000,000
合 計	8,000,000	5,000,000	0	13,000,000

5 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
創立75周年記念事業積立金	8,000,000	(0)	(8,000,000)	(0)
創立80周年記念事業積立金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小 計	13,000,000	(0)	(13,000,000)	(0)
合 計	13,000,000	(0)	(13,000,000)	(0)

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	409,901	100,525	309,376
建物付属設備	749,414	437,233	312,181
器具備品	3,087,133	2,688,377	398,756
合 計	4,246,448	3,226,135	1,020,313

7 重要な後発事象

特記事項なし

8 その他

特記事項なし

4.附属明細書

1 基本財産及び特定財産の明細

財務諸表の注記に記載をしているため、内容記載省略。

2024年度 決算報告
(2024年4月1日～2025年3月31日まで)

(一般正味財産のみ)

(単位:円)

科 目	公益1	公益2	公益3	共通	小計	他1	他2	小計	法人会計	合計予算額
I 経常増減の部										
1.経常収益										
① 入会金収入										
入 会 金 収 入	0	0	0	192,500	192,500	0	0	0	192,500	385,000
② 会費収入										
正 会 員 会 費 収 入	0	0	0	6,867,500	6,867,500	0	0	0	6,867,500	13,735,000
賛助会員会費収入	0	0	0	420,000	420,000	0	0	0	420,000	840,000
③ 事業収入										
広 告 料 収 入	0	0	780,000	0	780,000	0	0	0	0	780,000
講 習 会 収 入	0	57,000	0	0	57,000	0	0	0	0	57,000
記 念 事 業 収 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 雑収入										
雑 収 入	0	0	0	5,704	5,704	0	0	0	0	5,704
委 託 契 約 収 入	0	0	0	198,000	198,000	0	0	0	198,000	396,000
⑤ 積立金取崩収入										
記念事業費積立金取崩				0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	57,000	780,000	7,683,704	8,520,704	0	0	0	7,678,000	16,198,704
2.経常費用										
① 事業費										
会 議 費	85,635	238,810	7,850		332,295			0		332,295
旅 費 交 通 費	99,722	724,504	99,456		923,682			0		923,682
通 信 運 搬 費	67,420	847,287	576,828		1,491,535			0		1,491,535
消 耗 什 器 備 品 費	95,536	218,920	16,800		331,256			0		331,256
消 耗 品 費	6,094	0	0		6,094			0		6,094
印 刷 製 本 費	292,875	474,006	2,392,193		3,159,074			0		3,159,074
賃 借 料	46,950	892,600			939,550			0		939,550
水 道 光 熱 費		124,349			124,349			0		124,349

[illegible]

[illegible]

中間監査報告書

公益社団法人 愛知県診療放射線技師会

会長 水口 仁 殿

令和 6 年 10 月 16 日

公益社団法人 愛知県診療放射線技師会

監事

近藤裕二
中村 勝



我々監事兩名は、愛知県診療放射線技師会定款第26条及び、会計規定第28条に基づき、令和6年10月16日に令和6年度に係る業務及び会計の中間監査を行ったので、次のとおり報告する。

1. 監査の方法と概要

(1) 業務監査については、事業計画に基づき議事録綴その他関係書類を閲覧するほか、理事から業務報告を聴取し、必要と思われる監査方法により、業務執行の妥当性について監査した。

(2) 会計監査については、予算計算書を参考に、収支について帳簿及び関係帳簿ならびに証拠書類の閲覧及び突き合わせをするなど、必要と思われる監査手続きにより、計算書類の正当性について監査した。

2. 監査の結果

(1) 業務執行については正しく処理されていると認める。

(2) 収支状況及び財政状態は正しく表示していると認める。

以上のとおり監査報告します。

以上

監 査 報 告 書

公益社団法人 愛知県診療放射線技師会

会長 水口 仁 殿

令和7年4月9日

公益社団法人 愛知県診療放射線技師会

監事

近藤 裕二
中村 勝



我々監事兩名は、愛知県診療放射線技師会定款第26条及び、会計規定第28条に基づき、令和6年10月16日及び令和7年4月9日の2回にわたり令和6年度に係る業務及び会計の監査を行ったので、次のとおり報告する。

1. 監査の方法と概要

(1) 業務監査については、事業計画に基づき議事録綴その他関係書類を閲覧するほか、理事から業務報告を聴取し、必要と思われる監査方法により、業務執行の妥当性について監査した。

(2) 会計監査については、予算計算書を参考に、収支について帳簿及び関係帳簿ならびに証拠書類の閲覧及び突き合わせをするなど、必要と思われる監査手続きにより、計算書類の正当性について監査した。

2. 監査の結果

(1) 業務執行については正しく処理されていると認める。

(2) 収支状況及び財政状態は正しく表示していると認める。

以上のとおり監査報告します。

以上

令和7年度（2025年度） 事業計画（案）

【総括】

この数年、異常気象や紛争、働き方改革、円安などいろいろな要因により物価が高騰しデフレーションからインフレーションに変化してきました。それに加えて今年の2月にトランプ氏がアメリカ大統領に就任したこともあり先行きが不安な状態となっている。物価高騰により病院での設備投資などにも影響が少なからず出ていると思われる。また、近年の医療における問題点として挙げられているのが医療従事者の不足、働き方改革、高齢化社会、医療費の高騰、情報共有とデジタル化の遅れである。これらの要因により病院運営や医療の質の低下などが懸念されている。診療放射線技師としてもタスクシフト・シェアの推進や業務の効率化やDXの活用を検討していく必要がある。愛知県診療放射線技師会としても様々な情報提供を行っていきたいと思っている。

本会の事業に関しては2025年4月1日に公益法人法が改正され技師会として大きく関わる部分として、外部監事、外部理事の設置が必要になったことが挙げられる。ただ、外部理事については収入が3,000万円以下の公益法人は免除対象となり当会においては外部監事の設置のみが必須となった。外部監事は同業種以外の方に就任して頂くことになるので技師会運営において新たな息吹を吹き込んで頂けるのではないのでしょうか。私たちとしてもとても気が引き締まる思いである。

タスクシフト・シェアが実施されるようになってから4年が経過して2026年には学校のカリキュラムで履修された方が卒業してくる。そのため日本診療放射線技師会の告示研修も2025年度をもって終了予定となっている。愛知県で開催するものの最終年度となり例年通り12回の開催を予定している。2026年度以降については開催が不透明ですのでもなるべく今年度中に受講して頂くことをお勧めする。

例年開催している県民公開講座ですが、今年度は日本診療放射線技師会と日本放射線技術学会が合同で開催しているJ-J市民公開講座が技術学会中部支部の担当となり愛知県で開催されることとなった。技術学会中部支部からの協力要請もあったので当会が実施している県民公開講座と合同で行う事とした。

当会が主催している研修会やセミナーの開催を今年度も会場型で開催する予定である。新型コロナウイルス感染症が流行して以降、WEBでの研修会が多くなり自宅で自己学習が出来るようになり会場型での研修会等の参加人数は以前のような人数が集まらない。会場型で行うことで人との交流が図れるとも考えており、皆さんが会場型で参加をしたくなるような企画を検討する。

会員各位には、診療放射線技師にかかわる諸問題を十分に理解頂き、当会が実施する諸事業に積極的に参加していただき、組織運営に絶大なるご支援とご協力をお願いして、以下の事業計画案を提案する次第である。

本定時総会において皆様の十分なご審議をお願いする。

[1] 地域保健共催事業への参画

1) 地区医療放射線展の開催 (広報部)

各地域で開催される健康関連のイベントには、地区役員及び会員の協力を得ながら引き続き参加の予定である。各地での医療関連の催しについても本会作成のパネルの貸出や参加することで、地域住民の保健医療及び福祉活動にも積極的に関わり、放射線についての正しい理解と知識の普及啓発に加え、医療における診療放射線技師の役割や技師会組織についての理解も深まるようにする。

しかし、昨今の経済情勢により各地方自治体は健康関連イベント予算の縮小傾向にあり、さらに新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応で、開催自体が危ぶまれている。本会としては柔軟に対応する予定である。

参加内容 医療放射線に対する正しい理解と知識の啓発

- (1) 医療放射線、医療被ばくに関する P R パネル展示
- (2) 各種臨床画像の供覧
- (3) 医療放射線に関する相談
- (4) 医療放射線検査の V T R 放映
- (5) パンフレット〈医療用放射線 Q & A〉の配布 等

① 西三地区医療放射線展

(刈谷市福祉・健康フェスティバル 2025 への参加)

期 日	令和 7 年 1 0 月 予定
場 所	刈谷市総合文化センター
対 象	刈谷市民他

他地区に於いても、地域保健共催事業に積極的に参加していきたい。

2) レントゲン週間のイベント開催 (広報部)

第 1 8 回県民公開講座

(第 1 9 回日本放射線技術学会・日本診療放射線技師会 合同公開市民講座)

期 日	令和 7 年 9 月 2 8 日 (日)
場 所	名古屋市立大学病院

[2] 診療放射線技師の資質向上に関する事業

1) 学術大会・研修会の開催 (学術部)

科学技術の急速な進歩は医療機器・関連技術にも大きな変化をもたらす。医用画像関係の技術革新は著しく、多様化する医療現場において診療放射線技師の果す役割と責務は一層重要となる。

患者さんはより高い医療と満足を求めて医療機関を選ぶようになりつつある。その中で診療放射線技師はどうあるべきか、医療人としての自覚と職業倫理が高揚できるような企画を考える。

期 日	通 年
場 所	会員の勤務する県内の医療機関・本会研修室等
内 容	(公社) 愛知県診療放射線技師会学術大会 1 回 (第 3 7 回学術大会) (公社) 愛知県診療放射線技師会研修会 3 回～4 回 (公社) 愛知県診療放射線技師会寺子屋研修会 1 ～2 回
対 象	(公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師

2) 講習会 (講演) の開催 (執行部)

チーム医療における安全や質の確保に必要なノンテクニカルスキルに関連した講習会 (講演) 等の開催について検討する。

3) 調査研究活動の充実 (組織調査部)

(公社) 日本診療放射線技師会放射線管理士分科会、学術部との連携を図り、放射線管理に於ける調査研究を充実する。加えて、会員を対象に線量計の貸し出しを行う。

(公社) 日本診療放射線技師会認定資格取得者の組織化及び活動の強化を目指す。

4) 共催事業

① 第 2 8 回さつきセミナー (学術部)

期 日	令和 7 年 5 月 2 5 日 (日)
場 所	名古屋市立大学病院
対 象	(公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的	診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術の講演会の開催

② 第 2 5 回サマーセミナーの開催 (組織調査部)

期 日	令和 7 年 9 月 6 日 (土) 予定
場 所	電気文化会館
対 象	(公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的	診療放射線技師の属する職場の管理に必要な事項についての講演会並びに討論会の開催

② 第 3 5 回診療放射線技師フォーラム (学術部)

期 日	令和 7 年 1 1 月 予定
場 所	ウインクあいち
対 象	(公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的	診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術の講演会の開催

③ 第26回新春セミナー（組織調査部）

期 日	令和8年1月 予定
場 所	ウインクあいち
対 象	（公社）愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目 的	診療放射線技師の生涯教育における初心者の放射線領域関 連技術、並びに全会員のための全人的教育の講演会の開催

④ ANTs（学術部）

期 日	通年 （3回～4回を予定）
場 所	本会研修室（又はWEB配信）
対 象	（公社）日本（愛知県）診療放射線技師会会員及び 核医学検査または研究に従事する診療放射線技師
目 的	診療放射線技師の生涯教育における核医学検査に関する関連 技術の習得及び最新の情報提供を目的とした講演会の開催

その他、本会会員及び診療放射線技師の資質向上に寄与する共催依頼があれば積極的に参画する。

5）（公社）日本診療放射線技師会認定事業・研修・セミナー等の開催
（執行部）

（公社）日本診療放射線技師会と呼応し、諸資格の認定講習会・試験、研修会やセミナー等を、会員皆様の参加しやすい形態にて、隣県との連携も考え、地方開催する。

6）地域の学術大会や研究会などへの参加（執行部）

研究発表を促し、シンポジスト等の派遣の依頼にも応え、会員の学術研鑽や研修の場として活用できるよう積極的な参加を呼びかける。

① 第17回中部放射線医療技術学術大会
（令和7年度 第33回 中日本地域放射線技師学術大会・
第59回 日本放射線技術学会中部部会学術大会）

期 日	令和7年11月15日（土）16日（日） 予定
場 所	鈴鹿医療科学大学
当 番	（一社）三重県診療放射線技師会 （公社）日本放射線技術学会中部支部

② 第66回東海四県診療放射線技師学術大会

期 日	令和8年2月15日（日） 予定
場 所	三重大学医学部附属病院
当 番	（一社）三重診療放射線技師会

7）後援事業について（執行部）

他団体が運営する医療関連の研修会・講演会など、本会の趣旨と合致するものについては、後援依頼があれば常務理事会に諮り後援する。

[3] 組織の充実・調査活動

1) 地区活動の推進 (組織調査部)

各地区との連携を密にし、地区総会や研修会の開催など地区理事を中心にした地区活動の強化をはかり、各地区の住民に対しては医療放射線展などを通し放射線の安全管理についての知識の普及や啓発活動を行い、地域医療の発展向上に寄与する。

期 日	通年
対 象	県下 9 地区 名古屋東地区、名古屋西地区、名古屋南地区、名古屋北地区 東三地区、西三地区、知多地区、尾東地区、尾西地区

2) 職場責任者会議 (マネージャー・サブマネージャーセミナー) の開催 (組織調査部)

各施設の所属長に対して技師会に関する理解と協力を要請し、技師会活動の活性化を図るとともに、本会の基盤強化及び情報交換の場を提供する。数年前から職場責任者会議 (マネージャー・サブマネージャーセミナー) とし範囲を拡げ、各施設の管理職のみならず、次世代を担うスタッフを対象としている。(会議を通して技師会への入会と開催行事への参加を促進する)

期 日	令和 8 年 2 月	予定
場 所	未定	
対 象	(公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師	

3) Cherish の会について (女性委員会)

(公社) 日本診療放射線技師会が主催する女性活躍推進の活動と呼応し、本会でも女性技師が活躍できる会を設立した。令和 2 年より女性活躍推進班は業務改善推進委員会として引き継がれ、本会でも引き続き積極的な活動を進め、女性活躍推進の支援に努めるとともに、診療放射線技師の情報交換を通し、広義で職場環境を整え、働き方改革の推進にも寄与できるような有意義な委員会としている。

期 日	令和 7 年 8 月	および	秋	予定
場 所	未定			
対 象	(公社) 愛知県診療放射線技師会会員及び 愛知県在住及び勤務する診療放射線技師			
目 的	診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術、交流を通じて職場環境・働き方 (改革) の可視化と講演会開催			

[4] 発刊事業 (広報部)

通常総会をはじめ学術大会や研修会などの本会各種事業の案内、会務の報告、福利厚生、地区活動、会員の移動状況、その他の情報を伝える。

期 日	通 年
内 容	愛知県診療放射線技師会誌・・・・・・ 2 回
	愛放技通信・・・・・・・・・ 適宜

〔 5 〕 会 員 親 睦 行 事 の 開 催 （ 組 織 調 査 部 ）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）やインフルエンザ等の状況を考慮しつつ、会員相互の親睦を図る。

期 日	令和 7 年 秋 予定
場 所	未定

〔 6 〕 県 技 師 会 研 修 室 に つ い て （ 執 行 部 ）

平成 2 1 年度に県技師会事務所の隣室を研修室として整備した。研修室は、会議（理事会・各部会）・研修会・講習会の会場として利用されている。今年度も公益社団法人として、診療放射線技師の技術向上を目的とした研修や技術習得の場として活用する。

また会員相互の研修会・勉強会などにも積極的な利用をお願いする。

〔 7 〕 ホ ー ム ペ ー ジ の 拡 充 （ 広 報 部 ・ 組 織 調 査 部 ）

ホームページを通して本会の情報発信を行う。公益法人として、県民への情報提供及び診療放射線技師をはじめとする医療関係者へ、有用なものとなるようにする。適宜会議を開催しホームページの内容を拡充する。

〔 8 〕 相 談 事 業 （ 被 ば く 相 談 委 員 会 ・ 執 行 部 ）

「放射線被ばく」や「放射線関連検査・治療」に疑問や不安を抱える方に対して、正しい知識を伝え国民の健康増進に寄与するため、メールや地域医療放射線展などで相談に応じる。

〔 9 〕 そ の 他

以上の基本的事業のほか、会員の福利厚生に関する事項や（公社）日本診療放射線技師会をはじめ関係諸団体や賛助会員からの要請等については、弾力的に対応する。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）やインフルエンザ等の状況を考慮し、あらゆる事業について、WEB 開催などの対応を検討する。

(令和7年4月1日～令和8年3月31日まで)

(単位:円)

（平成30年度決算）										
科 目	公益1	公益2	公益3	共通	小計	他1	他2	小計	法人会計	合計予算額
I 経常増減の部										
1.経常収益										
① 入会金収入										
入 会 金 収 入	0	0	0	250,000	250,000	0	0	0	250,000	500,000
② 会費収入										
正 会 員 会 費 収 入	0	0	0	7,500,000	7,500,000	0	0	0	7,500,000	15,000,000
賛助会員会費収入	0	0	0	450,000	450,000	0	0	0	450,000	900,000
③ 事業収入										
広 告 料 収 入	0	0	800,000	0	800,000	0	0	0	0	800,000
講 習 会 収 入	0	300,000	0	0	300,000	0	0	0	0	300,000
記 念 事 業 収 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④ 雑収入										
雑 収 入	0	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	20,000
委 託 契 約 収 入	0	0	0	200,000	200,000	0	0	0	200,000	400,000
⑤ 積立金取崩収入										
記念事業費積立金取崩				0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	300,000	800,000	8,410,000	9,510,000	0	0	0	8,410,000	17,920,000
2.経常費用										
① 事業費										
会 議 費	100,000	300,000	20,000		420,000			0		420,000
旅 費 交 通 費	150,000	900,000	200,000		1,250,000			0		1,250,000
通 信 運 搬 費	100,000	1,000,000	500,000		1,600,000			0		1,600,000
消耗什器備品費	100,000	300,000	50,000		450,000			0		450,000
消 耗 品 費	10,000	80,000	10,000		100,000			0		100,000
印 刷 製 本 費	300,000	500,000	2,500,000		3,300,000			0		3,300,000
賃 借 料	0	1,000,000			1,000,000			0		1,000,000
水 道 光 熱 費		200,000			200,000			0		200,000
保 険 料	0	0	0		0	20,000		20,000		20,000
諸 謝 金	100,000	800,000			900,000			0		900,000
負 担 金 支 出		350,000			350,000			0		350,000
助 成 金 支 出	100,000	700,000			800,000			0		800,000
記 念 行 事 費	0	0	0		0			0		0
給 料 手 当	900,000	900,000	900,000		2,700,000			0		2,700,000
福 利 厚 生 費	0	0	0		0	500,000	200,000	700,000	0	700,000
減 価 償 却 費	1,000	150,000	1,000		152,000			0		152,000
雑 費	1,000	10,000			11,000			0		11,000
事 業 費 計	1,862,000	7,190,000	4,181,000		13,233,000	520,000	200,000	720,000	0	13,953,000
② 管理費										
給 料 手 当								0	350,000	350,000
福 利 厚 生 費								0	0	0
会 議 費								0	100,000	100,000
旅 費 交 通 費								0	150,000	150,000
通 信 運 搬 費								0	200,000	200,000
消耗什器備品費								0	100,000	100,000
消 耗 品 費								0	100,000	100,000
水 道 光 熱 費								0	250,000	250,000
賃 借 料								0	1,550,000	1,550,000
保 険 料								0	100,000	100,000
諸 謝 金								0	900,000	900,000
減 価 償 却 費								0	27,000	27,000
雑 費								0	140,000	140,000
管 理 費 計								0	3,967,000	3,967,000
③ 記念事業引当金繰入	0	0	0						0	0
④ 学 術 大 会 費 用					0				0	0
経常費用計	1,862,000	7,190,000	4,181,000	0	13,233,000	520,000	200,000	720,000	3,967,000	17,920,000
当期計上増減額	△ 1,862,000	△ 6,890,000	△ 3,381,000	8,410,000	△ 3,723,000	△ 520,000	△ 200,000	△ 720,000	4,443,000	0
II 経常外増減の部										
1.経常外収益										
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2.経常外費用										
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計										
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 1,862,000	△ 6,890,000	△ 3,381,000	8,410,000	△ 3,723,000	△ 520,000	△ 200,000	△ 720,000	4,443,000	0
当期正味財産期首残高										23,769,410
正味財産期末残高										23,769,410